

9月
定例会

のざき正志・定例会一般質問より

質問

高齢者福祉について。全国の警察が把握した認知症方向不明者は、昨年1年間で1万322人に上る、三条市の実態はどうか伺う。

答弁

現在、三条市において、認知症方向不明となっている方はおられない。

質問

認知症高齢者の徘徊に対する警察や事業所との連携などの対策は、どのように取り組んでいるのか伺う。

答弁

警察からはいかいシルバーSOSネットワークで、保健所、市、バス・タクシー事業者、JR、宅配業者、地域包括支援センター、銀行、ホームセンター等へ、捜査依頼のファックスが入る。市は介護事業所や各施設へ情報提供し、捜査の輪を広げる対応をしている。

質問

認知症の早期発見・早期対応につなげる取り組みはどう考えているのか伺う。

答弁

平成24年度に全戸配布した認知症暮らしのガイドブックに認知症のチェックリストを掲載されている。活用を促している。専門医とも相談し、チェックリストを作成し、普及促進に努めたい。

質問

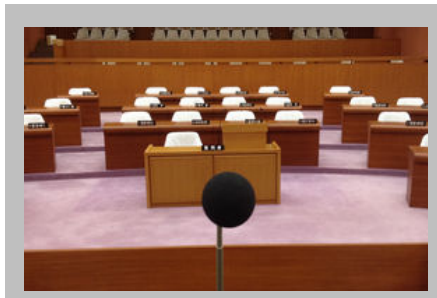
今後の地方公会計の整備促進について。財政の実態の見える化への挑戦とされている。当市の取り組みと今後の対応はどうか伺う。

答弁

市では、総務省方式会計モデルを採用している。国は29年度までに統一的な基準による財政書類を作成するよう要請で、相当な事務量が想定され、今後の事務内容を把握した上で計画的に対応していかなければならないと考えている。



街頭演説する野崎市議



議場の演壇より



夏の研修会より（東京・池袋）

● 結党 50 年 新たな衆望担い新時代開こう！

●「政策提言」高齢者をはじめとして住民が元気に安心して暮らせ、女性や若者が大きく活躍できる社会をめざして、①支え合う地域づくり。②魅力ある地域づくり。③安心な地域づくり。④活力ある地域づくり。の四つ「地域づくり」の柱を掲げる。

「現場からの声、皆様からの声をカタチに変えて行きます。」皆様よりの声にしっかり対応してまいります。気軽にご相談下さい。

三条市議会議員 のざき正志

ホームページはこちら <http://www.komei.or.jp/km/sanjo-nozaki-masashi/>